

<b>B 1 2 1</b> <b>初 級</b> (PC 実習あり)	<h1>化学分野の特許調査</h1> <p>特許公報の記載事項を把握した技術用語・特許分類の見つけ方 元審査官からみた検索式の考え方、文献の見つけ方</p>
講師	山田 拓 (TMI 総合法律事務所 元特許庁第 3 部審査官)
日程・場所	東京会場
	6 月 23 日 (木)、2023 年 3 月 17 日 (金)
時間	1 日間 (10:00~16:00) // 昼休憩 11:45~12:45
アクセス	<a href="https://www.jpds.co.jp/company/access.html">https://www.jpds.co.jp/company/access.html</a>
定員	24 名 (先着順申し込み)
受講料	20,000 円 (税込 22,000 円)
対象	化学系分野の特許調査担当の初級者以上
<b>内 容</b>	
<p>化学分野における特許調査は、新規性を基軸とする特許調査のアプローチでは適切な調査結果を得ることがなかなかできません。</p> <p>本セミナーは、化学分野の企業での開発経験があり、特許庁で審査官を経験したベテラン講師が、審査官による調査・審査を見据え、進歩性を考慮した考え方に基づく特許調査のプロセスとそのノウハウについてお伝えします。</p> <p>化学系の知的財産部門や開発部門の特許調査担当者のスキルアップ講座としてご活用ください。</p>	
<b>プログラム</b>	
<p>1. 検索の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検索について</li> <li>・ 先行文献調査についての考え方</li> <li>・ 特許出願前における進歩性を考慮した検索の考え方</li> <li>・ 審査官の行う調査方法</li> <li>・ J-Platpat を用いた検索</li> <li>・ 適切な検索の仕方</li> </ul> <p>2. 検索実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例説明</li> <li>・ 調査結果についての検討</li> </ul>	

## 【申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <https://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

## 【備考】

セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

## 【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。